

南京農業大学短期中国語文化研修報告書

2019年3月11日

筑波大学 永井大地 八木陽帆

私達は中国南京農業大学で行われた短期中国語文化研修に参加しました。本報告書では研修の概要と学んだことと感想を報告します。

■ 研修の概要

2019年2月26日に中国に渡航し、3月9日までの12日間の日程で研修に参加しました。参加者は私達のほかに宮崎大学から1年生14名が参加しました。研修では中国語の授業以外にも中国文化の観賞(中国事情、太極拳、中国画、篆刻)、南京市内観光(中山陵、梅花山、南京博物院ほか)、上海市内観光を行いました。

■ 学んだこと、感想

全体を通して非常に充実した研修であり、スケジュールは過密でしたが楽しい経験ができました。授業では中国人の教師からネイティブの発音を聴きながら学習することでより理解が深まりました。南京農業大学の学生と交流できる機会も多く、お互いの国や大学について話し理解し合う貴重な経験となりました。また、南京、上海市内を観光し、中国の文化やスケールの大きさを肌で感じることができました。語学だけでなく文化の体験や観光などを通して中国という国への興味がより高まったと感じ、今後の中国語の学習に向けて素晴らしいモチベーションになったと思います。

■ 研修を振り返って

共に研修に参加した宮崎大学の学生は、中国語の学習を1年間続けており、授業としてこの研修に参加してきました。そのため、ある程度の中国語は理解できており、そのレベルに合わせた授業が行われました。学習経験のない私たちには少し難しく思いましたが、中国語の基礎を学んだことのある初級者にとって効果のある研修だと感じました。

観光や文化の体験などでは、常に南京農業大学の学生や先生が引率してくれるため、身の安全は確保されていました。海外経験の少ない大学1年生や2年生は安心して参加できると思います。今後は筑波大学の低学年の学類生に向けて参加を促していくこともできると思います。

最後に今回の研修活動に当たりまして、活動の企画をはじめ多方面にわたり南京農業大学の関係者にご尽力いただきまして、深く感謝いたします。



中山陵にて



研修後の修了式にて



上海にて